

平成28年5月31日

第683号



# 水土里ネット長崎だより

長崎県土地改良事業団体連合会



平成27年度 長崎の農業・農村写真コンテスト県知事賞  
「収穫の日」雲仙市南串山町



～目次～

第60回通常総会	2～3
全国水土里ネット第58回通常総会	4
全国水土里ネット表彰式	4
第202回理事会	5
土地改良事業団体連合会九州協議会 会長・事務責任者会議	5
長崎県土地改良事業団体連合会 平成28年度役員執行体制	6
長崎県農林部幹部職員名簿	6
本会の主な人事異動	7
平成28年度 長崎県土地改良事業団体連合会 機構図	7
会議と行事	8
本会会員新規加入	8
第39回全国土地改良大会石川大会	8
第9回長崎の農業・農村写真コンテストのお知らせ	9

## 第60回 通常総会

2月24日（水）、長崎県市町村会館において、本会の第60回通常総会が開催されました。

本総会は、市町村関係6団体による合同総会として開催されています。

13時から開催された合同総会では、長崎県国民健康保険団体連合会の宮本明雄理事長が各団体を代表して挨拶がなされ、来賓の中村法道：長崎県知事（代理：里見晋副知事）、田中愛国：長崎県議会議長、井上明：九州農政局長が祝辞を述べられました。

合同総会に引き続き、本会の第60回通常総会が、115会員のうち、委任状を含む110会員の出席により開催されました。

総会は、議長に志岐好春：尾上土地改良区理事長を選任し議事に入り、上程した議案は全て可決承認されました。

また、第7号議案の役員改選に関する件については、任期満了に伴う役員改選が行われ、新たな役員が決定しました。任期は平成28年4月1日から平成32年3月31日までの4年間となります。

最後に決議文を小川理事長（田平土地改良区）が力強く朗読し、満場一致で採決されました。

また、総会に先立って、土地改良事業功労者表彰が執り行われ、9名の受賞者へ賞状と記念品が宮本会長より授与されました。

### 《本会総会議事》

- 第1号議案 平成26年度事業報告書、収支決算書及び財産目録の承認を求める件
- 第2号議案 平成27年度事業変更計画書及び収支補正予算書の承認を求める件
- 第3号議案 平成28年度経費の賦課及び徴収方法の承認を求める件
- 第4号議案 平成28年度事業計画書及び収支予算書の承認を求める件
- 第5号議案 役員報酬額決定の承認を求める件
- 第6号議案 借入金額の限度及び借入の方法並びに余裕金の預入先決定の承認を求める件
- 第7号議案 役員改選に関する件



宮本会長



長崎県知事（代理：里見晋副知事）の来賓祝辞



九州農政局長の来賓祝辞



第60回通常総会

## 決 議 (案)

農業・農村は、国の大本であり、安全・安心な食料の安定供給とともに、日本の豊かな国土や自然環境を形成し、潤いのある国民生活を支えてきた。これも先人達の農地や農業用水路など地域資源の維持向上に向けた献身的な努力の賜物であり、農業・農村が健全であって初めて維持されるものである。

しかしながら、農業・農村においては、農業従事者の高齢化や減少等による農地の荒廃、担い手不足等による農業用水の管理や営農の継続への影響など多くの課題に直面している。さらには人口減少に伴う地域活力の低下などが懸念されている。

農業・農村の持続的発展のためには、生産基盤と農村環境の整備は不可欠である。農業農村整備は、地方創生、農業の競争力強化、国土強靱化といった政策課題への対応において重要な役割を果たしており、持続可能な強い農業の実現のためには、大区画化や汎用化等の農地整備、適時適切な農業水利施設等の維持・更新が必要である。加えて、近年の気候変動による豪雨災害が多発する中、ため池を含む農業水利施設の老朽化の進行に対する、防災・減災対策の推進も必要である。

さらに、T P P交渉の大筋合意の結果を踏まえ、国内農業への影響を最小限にとどめるよう、万全の国内対策を一刻も早く講じることが喫緊の課題である。

このような現下の農業農村整備を巡る厳しい現況と課題を踏まえ、これまで培ってきた経験と技術を活用し、国が目指す施策の展開方向を踏まえ、「闘う土地改良」のスローガンの下、左記事項が確実に実現されるよう国並びに県当局に求めることを第六十回通常総会の名において決議する。

### 記

- 一、食料自給率の向上と担い手への農地集積を加速化し、コスト低減や高品質な農作物の生産など強い農業の展開を可能とするため、農地の大区画化や排水対策、畑地かんがい施設の整備をはじめとした各種対策を着実に推進すること
- 一、農村地域の強靱化に資するよう、ため池を含む老朽化した農業水利施設の長寿命化と耐震化、洪水被害防止等の防災・減災対策を、国が責任を持って着実に推進すること
- 一、T P P交渉の大筋合意結果を踏まえ、将来にわたって意欲ある農業者が希望を持って経営に取り組めるよう、万全な国内対策を積極的に講じること
- 一、健全な農業生産活動には、水路、ため池等の農業用施設の適切な維持管理を実施している土地改良区の役割が重要であるため、担い手への農地集積等に対応した施設の適切な維持管理を行えるよう、土地改良区の運営基盤の強化を図ること
- 一、これらの施策を計画的に実現するための農業農村整備事業当初予算を確実に確保すること

平成二十八年二月二十四日

長崎県土地改良事業団体連合会 第六十回通常総会

## 土地改良事業功労者表彰受賞者

林田 裕興 (長崎県 島原振興局 次長)	浅野 工 (南島原市 農村整備課 参事)
松本 拓徳 (長崎県 農林部 農村整備課 課長)	石橋 博 (布津北部土地改良区 理事長)
山口 悟 (諫早市 農林水産部 部長)	白川 永利 (芦辺土地改良区 理事長)
村井 誠一 (西海市 水道部 部長)	西 健二 (小値賀土地改良区 事務局長)
中野 泰介 (松浦市 農林課 参事)	

※敬称略

受賞おめでとうございます!



土地改良事業功労者表彰式



受賞者の皆様

# 全国水土里ネット第58回通常総会

3月25日（金）、都市センターホテル（東京都）において、全国水土里ネット第58回通常総会が、全国からの委任状を含む全51会員の出席により開催されました。

上程された議案については、全て満場一致で可決されました。また、議案可決後、総会決議（案）が事務局より読み上げられ、満場一致で採決されました。



## 決議（案）

昨年十月、T・P協定交渉が大筋合意され、この二月には、参加十二ヶ国が協定文に署名を行ったところである。T・P協定は、政府の試算によると、わが国にメリットがある一方、将来的に農産物の価格低下も想定されている。農業の競争力が求められる中、農業従事者の努力が報われる農業の実現には、T・P協定の生産者の生産性を向上させることが求められている。

一方、農業は、担い手不足等による高齢化、減少等による農地の荒廃や、担い手不足等による農地の管理・営農の継続の困難など、農業による様々な影響をもたらすことが想定される。これを踏まえ、農業の持続性を確保する必要がある。

水田・水田等、力強い農業の実現等を通じた食料の安定供給や農業・農村の多面的機能を発揮させるため、先の大詰め努力により維持・活用されるべき農地、農業用水の確保を確保する。関係する関係者の協力を得て、農地の維持・活用を促進する。農業農村整備予算は、平成二十八年度当初予算を合わせた、前年度より一千二百二十二億円の結果、平成二十七年補正予算と平成二十八年度当初予算を合わせた、前年度より一千二百二十二億円の増額を要求している。

一方、農業・農村は、強い農地や耕作放棄地の増加、資源管理の粗放化等の多くの課題に直面しており、持続可能な強い農業を実現するためには、農地の大区画化、汎用化等の課題に直時適切な農業の利便設備等の維持・更新が必要とされている。加えて、気候変動による豪雨災害の多発、農村地域の防災・減災対策の推進が重要な課題となっている。国民の生命と財産を守るために、農業農村の防災・減災対策の推進が重要な課題となっている。

こうした状況の下、政府は総合的なT・P関連政策大綱を策定し、平成二十七年補正予算にT・P対策費を一億総活躍社会の実現に向けて、各種施策に積極的に取り組んでいるところである。地方創生や一億総活躍社会の実現に向けて、我々が抱える課題をも直視し、国が示した農政の方向を踏まえ、女性の能力も活用しつつ積極的な貢献を果たしていく覚悟である。

以上のことを踏まえ、ここに参集した同志が、この決議案の旗印の下に一致団結して、次の事項の実現を図り、農業農村整備を推進していくことを総会の名において決議する。

記

- 一 安定的・計画的な事業執行のために、平成二十九年度当初予算においては、現場のニーズに十分応えられる規模の農業農村整備予算を確保すること。さらに、T・P対策については、既存の農林水産予算の枠組みに影響を与えないよう、政府全体で毎年度責任を持って必要な予算措置を講ずること。
- 一 担い手への農地集積、コスト削減、高品質・高収益な作物の生産等、農業の構造改革を加速化すること。水田の大区画化や汎用化等における地域特性を踏まえた基礎的整備により農業経営の持続的な発展が可能となるよう十分配慮すること。
- 一 東日本大震災を始めとする災害からの一日も早い復旧・復興を進めるとともに、農村地域の強靭化に資するよう、ため池を含む老朽化した農業水利施設等の長寿化や耐震化、洪水被害防止等の防災・減災対策を、国が責任を持って着実に推進すること。
- 一 多面的機能広域制度の推進に当たっては、地域協議会や水土里ネットがこれまで培った技術、経験なども十分に活用すること。効果的な推進に資すること。その際、国において十分な予算確保を図ること。
- 一 農地中間管理事業の推進に当たっては、水土里ネットが有する技術、経験、地情情報システムを活用し、農地整備事業との連携を始め、担い手の育成や面的集積、地元調整、行政機能の補完など、制度の円滑な推進に貢献すること。
- 一 農村の資源を有効に活用し、再生可能エネルギーの普及、維持管理費の低減に資するため、小水力発電等を推進すること。
- 一 構造改革の推進による組合員の減少や電気料金値上げなど、水土里ネットの運営基盤が大きく揺らいでいる中、今後とも担い手等の求めに応じて、国土強靭化基本計画、農水省が担い手等の維持など水土里ネットの運営基盤の強化を図ること。

平成二十八年三月二十五日  
全国土地改良事業団体連合会 第五十八回通常総会

## 全国水土里ネット表彰式

3月25日（金）、シエーンパツハ・サポール（東京都）において、全国水土里ネット表彰式が執り行われ、森山裕：農林水産大臣、進藤金日子：土地連会長会議顧問、末松広行：農村振興局長をはじめ、幹部職員を来賓として迎え、農業農村の発展に尽力し貢献されてきた方々の功績を称えました。なお、本県からの受賞者は以下のとおりです。

### 第57回全国土地改良功労者表彰

- 金章：沓岐土地改良区（沓崎市）
- 銀章：神代土地改良区（雲仙市）
- 古江・田中土地改良区（南島原市）
- 銅章：沓岐北部土地改良区（沓崎市）
- 尾上土地改良区（南島原市）
- 個人：山田牧久（馬込土地改良区理事長）
- 太田一裕（西海町土地改良区事務局長）

### 農業農村整備優良地区コンクール表彰

- 農村振興局長賞：山田原土地改良区（雲仙市）



左から、西海町：太田事務局長、馬込：山田理事長、古江・田中：吉岡理事長、尾上：沓岐理事長、山田原：大久保理事長、沓岐：辻事務局長、山口理事、松尾副会長

## 第202回 理事会

4月28日（木）、土地改良会館において、本会の第202回理事会を宮本会長他理事8名、監事2名の出席により開催されました。

議事では、6月2日（木）諫早文化会館において開催予定の「長崎県農業農村整備事業推進大会の開催について」等、各議案を審議し、各議案とも満場一致で可決されました。

また、理事会に先立ち県農林部幹部職員の皆様が見えられ、加藤農林部長より来賓挨拶および執行方針説明、平成28年度長崎県農業農村整備事業予算についての説明を受けました。



### 議 題

- |       |                         |
|-------|-------------------------|
| 第一号議案 | 長崎県農業農村整備事業推進大会の開催 について |
| 第二号議案 | 長崎県農業農村整備事業推進協議会の役員について |
| 第三号議案 | 事務局長の承認について             |
| 第四号議案 | 参与の承認について               |

## 土地改良事業団体連合会九州協議会 会長・事務責任者会議

2月25日（水）、グランデはがくれ（佐賀市）において、土地改良事業団体連合会九州協議会会長・事務責任者会議が開催されました。

まず、事務責任者会議が開かれ、「平成28年度九州・沖縄各県の展開方向について」を議題として、各県からの提案事項について意見交換を行いました。

続いて、会長・事務責任者会議が開かれ、山田耕士：九州農政局整備部長からの来賓挨拶に引き続き、平成28年度農業農村整備事業予算について説明がなされました。

会議では、登り俊也：九州農政局設計課長が「国からの情勢報告」を、山根伸司：全国水土里ネット技術開発部次長が「農地整備事業と農地中間管理事業との連携について」を説明され、その後、質疑並びに意見交換を行いました。



会長・事務責任者会議



参加された方々

## 平成28年度 役員執行体制

平成28年4月1日からの役員執行体制について、下記のとおりお知らせします。

長崎県土地改良事業団体連合会役員名簿			
役職名	氏名	公職	備考
会長	宮本 正則		再任
副会長・専務理事	松尾 一郎		再任
副会長	渡邊 悟	東彼杵町長	新任
理事	宮本 明雄	諫早市長	再任
〃	古川隆三郎	島原市長	再任
〃	金澤秀三郎	雲仙市長	再任
〃	松本 政博	南島原市長	再任
〃	小川 隆友	田平土地改良区理事長	再任
〃	道原 悟	飯盛土地改良区理事長	再任
〃	白川 永利	芦辺土地改良区理事長	新任
代表監事	田中 隆一	西海市長	再任
監事	大久保純三	竜尾川土地改良区理事長	新任
〃	川口 規一	牟田土地改良区理事長	新任

※任期 (平成28年4月1日～平成32年3月31日)

## 長崎県農林部幹部職員名簿 (平成28年4月1日付)

部署名	職名	氏名
【農林部】	部長	加藤 兼仁
	政策監	前田 健次
	次長	中村 功
	次長	宮崎 浩善(新)
農村整備課	課長	本村 高一(新)
	企画監	松本 拓徳
農政課	課長	西尾 康隆
	企画監	福田 修二(新)
農山村対策室	室長	山形 雅宏
農山対策室	室長	光永 郁宏
団体検査指導室	室長	山下 明
農業経営課	課長	佐藤 紳
	企画監	渡邊 大治
農地利活用推進室	室長	綾香 直芳
農産園芸課	課長	渋谷 隆秀(新)
農産加工流通課	課長	長岡 仁(新)
畜産課	課長	大曲 祥之
諫早湾干拓課	課長	藤田 昌三(新)
林政課	課長	佐藤 義高
森林整備室	室長	内田 陽二

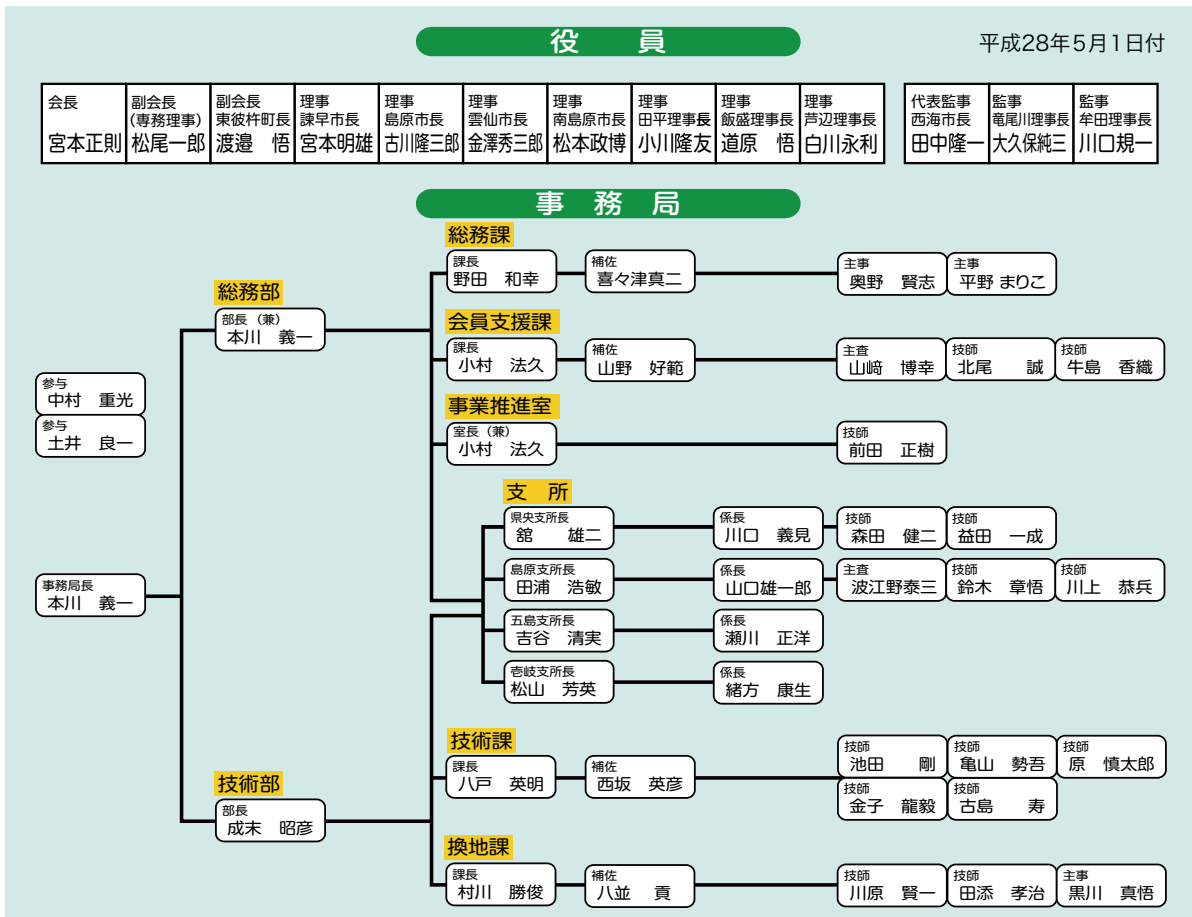
部署名	職名	氏名
【県央振興局】 農林部	局次長(兼)部長	江藤 博之
	副部長	森高 一久(新)
【島原振興局】 農林水産部	局次長(兼)部長	林田 裕興
	副部長	村里 祐治(新)
【県北振興局】 農林部	部長	土井 幸寿
	副部長	川口 健二
【五島振興局】 農林水産部	部長	溝口 聖
	課長	田嶋 博文
【壱岐振興局】 農林水産部	部長	池田 恭治
	課長	石村 敬浩
【対馬振興局】 農林水産部	部長	居村 憲昭(新)
	副部長	峰 靖彦(新)

## 本会の主な人事異動 (平成28年4月1日付)

新 所 属	旧 所 属	氏 名
<b>【事務局】</b>		
事務局長 (兼)総務部長	総務部長(兼)会員支援課長	本川 義一
<b>【総務部】</b>		
会員支援課 課長 (兼)事業推進室長	沓岐支所長	小村 法久
会員支援課 補佐	会員支援課 係長	山野 好範
会員支援課 主査	会員支援課 技師	山崎 博幸
会員支援課 技師	技術部 技術課	北尾 誠
<b>【技術部】</b>		
技術課 補佐	島原支所 係長	西坂 英彦
換地課 補佐	換地課 係長	八並 貢
技術課 技師	県央支所 技師	池田 剛
換地課 主事	事業推進室 主事	黒川 真悟

新 所 属	旧 所 属	氏 名
<b>【県央支所】</b>		
係長	技術課 技師	川口 義見
技師	島原支所 技師	森田 健二
<b>【島原支所】</b>		
係長	県央支所 係長	山口雄一郎
主査	五島支所 係長	波江野泰三
<b>【五島支所】</b>		
係長	会員支援課 技師	瀬川 正洋
<b>【沓岐支所】</b>		
支所長	技術課 補佐	松山 芳英
<b>【退職】平成28年3月31日付</b>		
	事務局長	土井 良一

## 平成28年度 長崎県土地改良事業団体連合会 機構図



## 会議と行事

- 3月**
- 25日 全国水土里ネット第58回通常総会(東京都)
  - 25日 全国水土里ネット表彰式(東京都)
  - 29日 多面的機能支払交付金研修会(長崎市：土地改良会館)
  - 31日 本会職員辞令交付式
- 
- 4月**
- 1日 平成28年度仕事始め式
  - 15日 第1回農業農村整備事業担当地方機関長会議(長崎市：土地改良会館)
  - 20日 農業会議第1回常設審議委員会(長崎市：農協会館)
  - 26日 全国水土里ネット会長・事務責任者合同会議(東京都)
  - 28日 第202回理事会(長崎市：土地改良会館)
- 
- 5月**
- 10日 土地改良事業団体連合会九州協議会第58回通常総会(那覇市)
  - 20日 農業農村整備事業予算に対する要請活動(長崎市)
  - 27日 土地改良事業団体連合会九州協議会合同会議(福岡市)
  - 30日 農業農村整備の集い(東京都)
  - 31日 農林水産省・県選出国會議員へ要請活動(東京都)

## 本会会員新規加入について

この度、下記土地改良区が本会会員に加入されましたのでご紹介します。  
これにより本会の会員土地改良区は、95団体となりました。

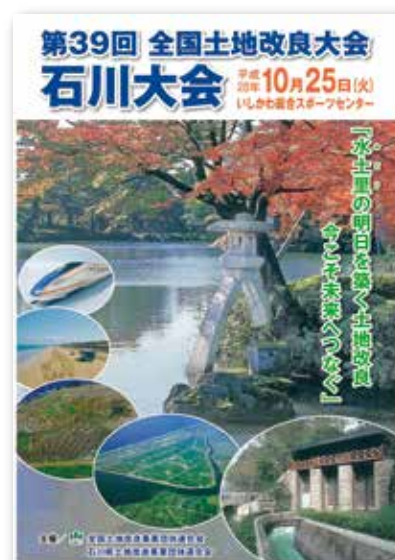
土地改良区名	所在地	理事長	加入年月日
針陽土地改良区	佐世保市針尾町2031番地	田中 芳秀	平成28年3月1日

## 第39回全国土地改良大会石川大会について

来たる10月25日(火)、石川県において、第39回全国土地改良大会石川大会が、「水土里の明日を築く土地改良今こそ未来へつなぐ」をテーマに開催されます。

日程は以下のとおりとなっております。

**日時：**式典：10月25日(火)  
事業視察：10月26日(水)  
**場所：**いしかわ総合スポーツセンター  
「メインアリーナ」(石川県金沢市)





## 第9回長崎の農業・農村写真コンテストのお知らせ

毎回たくさんのご応募をいただいています写真コンテストを、今年も開催いたします。皆様の力作をお待ちしております。

# 第9回 長崎の農業・農村写真コンテスト

作品募集

長崎の農業・農村が持つ大切な役割を多くの人に知っていただき、関心を高めていただくために、「長崎の農業・農村写真コンテスト」を実施致します。心に残る農村風景や伝えたい伝統などを撮影した皆様の作品をお待ちしております。

収穫の日(南串山町)



段々畑の収穫風景(南串山町)



農業風景(代掻き、田植え、稲刈り、野菜作り、果樹の手入れ、収穫など)や農業体験(農業体験、収穫イベントなど)等の写真

その一瞬、写真に残そう!

田植え・終えて(福島町)



緑豊かな自然景観、趣のある農村風景や棚田やため池のある風景、農村に伝わる生活文化・伝統行事等の写真

透明の秋(野岳町)



花の命は水とともに(琴海町)



人々の暮らしや自然風景に溶け込んでいる土地改良施設(田畑のほ場整備、農業用水路、農道、頭首工、ファームポンド、水管橋、揚水機場、排水機場、水門、歴史遺産など)及び施設の保全活動などの写真

●応募締切●  
8/19(金)まで  
(当日消印有効)

各賞

- ◎長崎県知事賞 1点(3万円商品券)
- ◎水士里ネット長崎会長賞 1点(2万円商品券)
- ◎部門優秀賞 3点(1万円商品券)
- ◎入選 10点(3千円商品券)

送り先

〒850-0057 長崎市大黒町9番17号  
長崎県土地改良事業団体連合会  
「長崎の農業・農村写真コンテスト」宛

◎募集案内及びお問い合わせ先

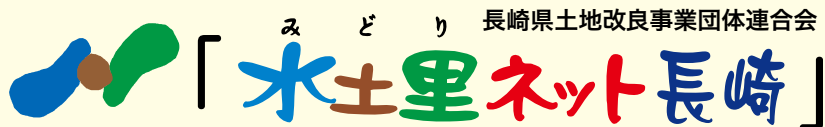
長崎県土地改良事業団体連合会(水士里ネット長崎) TEL: 095-823-3101

主催 長崎県土地改良事業団体連合会

共催 長崎県

詳しい内容は裏面をご覧下さい。

- 【募集規定】 長崎県内で撮影された、未発表の単写真
- 【作品サイズ】 四つ切りサイズ(四切、ワイド四切)及びA4サイズとします。
- 【応募方法】 応募票に必要事項を記入し、作品の裏側に張付けてご応募ください。応募票はホームページからダウンロードできます。
- 【お問合せ先】 長崎県土地改良事業団体連合会 総務課 (TEL: 095-823-3101)



土地改良会館 〒850-0057 長崎市大黒町9番17号 TEL(095)823-3101・FAX(095)823-3102  
総務部：総務課・会員支援課・事業推進室 (E-mail：n.soumu.3101@ntr.or.jp)  
技術部：技術課・換地課 (E-mail：nagasaki.setukei@ntr.or.jp)

県央支所：〒854-0071 諫早市永昌東町25-37 TEL(0957)23-7645・FAX(0957)27-0025・✉ sisho02@ntr.or.jp  
島原支所：〒855-0036 島原市城内1丁目1185-1 TEL(0957)62-6424・FAX(0957)65-0618・✉ sisho03@ntr.or.jp  
五島支所：〒853-0032 五島市大荒町441-1 TEL(0959)72-5007・FAX(0959)72-5007・✉ sisho05@ntr.or.jp  
壱岐支所：〒811-5133 壱岐市郷ノ浦町本村触509-3 TEL(0920)47-0408・FAX(0920)48-1011・✉ sisho06@ntr.or.jp

ホームページ <http://ntr.or.jp>

水土里ネット長崎

検索 

長崎県農地保全推進協議会 TEL(095)816-3636 ✉ nagasaki.nkyougikai@ntr.or.jp

**【本誌に関するお問合せやご質問などは、水土里ネット長崎総務課までお願い致します】**